



## 平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年2月4日

上場取引所 東

上場会社名 テルモ株式会社

コード番号 4543 URL http://www.terumo.co.jp

代表者 (役職名) 代表取締役 社長 (氏名) 新宅 祐太郎

問合せ先責任者 (役職名) 広報室長 (氏名) 丸田 正行 TEL 03-6742-8550

四半期報告書提出予定日 平成26年2月13日 配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績（平成25年4月1日～平成25年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	345,260	16.7	48,251	13.2	49,919	23.4	36,896	49.3
25年3月期第3四半期	295,749	2.4	42,628	△14.5	40,453	△12.7	24,707	12.5

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 83,517百万円 (104.4%) 25年3月期第3四半期 40,856百万円 (ー%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	194.32	194.31
25年3月期第3四半期	130.12	ー

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第3四半期	863,324	511,406	59.2	2,693.32
25年3月期	771,032	437,909	56.7	2,304.42

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 511,394百万円 25年3月期 437,557百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	ー	22.00	ー	22.00	44.00
26年3月期	ー	29.00	ー	ー	ー
26年3月期(予想)	ー	ー	ー	29.00	58.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 平成26年3月期の連結業績予想（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	460,000	14.3	70,000	31.5	67,500	31.4	42,000	△10.7	221.20

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

・年間想定レート；1ドル=100円、1ユーロ=134円

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）一、除外 一社（社名）一

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年3月期3Q	189,880,260株	25年3月期	189,880,260株
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	4,949株	25年3月期	2,646株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年3月期3Q	189,876,379株	25年3月期3Q	189,878,534株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続を実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる仮定および業績予想のご利用にあたっての注意事項は、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	4
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	5
3. 四半期連結財務諸表 .....	6
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	8
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	8
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	9
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	10
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	10
(5) セグメント情報等 .....	10
(6) 重要な後発事象 .....	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年12月31日まで）における医療市場を概観すれば、米国では医療改革法により2014年1月から個人の医療保険加入の義務化が始まります。連邦議会予算事務局（CBO）によると、米国では医療保険に加入していない無保険者が2013年度で5,000万人強いると推定されており、保険加入者が増えれば受診患者数も増加するため、医療機器産業にも大きな影響を及ぼすと予想されています。

我が国においては、2013年11月に改正薬事法が成立しました。同法では、医療機器を扱う「章」が、医薬品とは別に新設されるとともに、「薬事法」の名称も「医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律」に改められました。また、医療機器の実用化促進に向けて、民間の第三者機関が認証する医療機器の対象を拡大するとともに、厚生労働大臣が基準を定めて指定する「高度管理医療機器」（クラスⅢ）の一部も第三者機関の認証の対象とすることで審査を迅速化する措置が講じられました。同法は、2014年秋にも施行される見通しです。

このような環境の下、当社グループでは現在、「世界で存在感のある企業になる」という目標を掲げ、当期から4カ年の中期経営計画を推進しています。

当第3四半期連結累計期間においては、引き続き為替の追い風を受けて海外事業が好調に推移し、前年同期比で増収増益となりました。心臓血管領域事業では、カテーテル事業が国内でペリフェラル・ニューロ製品を中心に好調を維持するとともに、海外でも欧州で若干伸びが鈍化したものの、北米を中心に堅調に推移しました。血液システム事業では、欧米の厳しい市場環境の影響を受けたものの、堅調な業績を維持しました。ホスピタル事業では、国内が減速するとともに、前期の在宅事業譲渡の影響もありマイナス伸長となりましたが、海外ではアジアが引き続き好調を維持しました。

その他の主な取り組みは以下の通りです。

- 心臓血管領域事業では、中期経営計画のパイプライン製品として、ノンコンプライアントバルーンを用いたPTCA拡張カテーテル「Hiryu Plus」（ヒリュウプラス）を11月に国内で販売開始しました。同製品では、バルーン部分の耐久性と柔軟性を両立するために素材を3層構造とするとともに、カテーテルのシャフト部分に補強体を追加し、システム全体の操作性向上を図りました。ノンコンプライアントバルーンは、薬剤溶出型ステント（DES）の留置後にステントを血管壁にしっかり圧着させるためなどに多く用いられ、DESの普及とともに、その重要性が増しています。
- 血液システム事業では、インドの既存工場の増産対応やベトナム南部での工場の新設など、グローバルでの生産統合が着実に進んでいます。
- ホスピタル事業では、日本初導入となる解熱鎮痛剤アセトアミノフェン静注液「アセリオ静注液1000mg」を11月に販売開始しました。アセトアミノフェンは世界で最も使用されている解熱鎮痛薬の一つであり、WHO方式がん疼痛治療法の基本薬の一つとして位置づけられています。同薬により、手術を受けた患者さんや、がん患者さんが、身体症状により経口製剤や坐剤の使用が困難な場合でも適切な疼痛管理ができると期待されています。

当第3四半期連結累計期間の業績は次の通りです。

（単位：百万円）

	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	伸長率 (%)	為替影響等除く 伸長率 (%)
売上高	295,749	345,260	16.7	2.8
売上総利益	153,487	178,661	16.4	△1.0
営業利益	42,628	48,251	13.2	△11.2
経常利益	40,453	49,919	23.4	—
四半期純利益	24,707	36,896	49.3	—

<売上高>

売上高は、前年同期比16.7%増の3,453億円となりました。

地域別

(単位：百万円)

地 域	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	伸長率 (%)	為替影響等除く 伸長率 (%)
日 本	142,067	142,110	0.0	0.0
欧 州	52,864	70,197	32.8	3.1
米 州	62,799	81,980	30.5	5.3
アジア他	38,018	50,972	34.1	8.5
海 外 計	153,682	203,150	32.2	5.3
合 計	295,749	345,260	16.7	2.8

国内では、心臓血管領域事業が好調を維持したものの、ホスピタル事業の影響で前年同期比微増の1,421億円となりました。一方、海外ではカテーテル事業が欧州で若干鈍化したものの、北米を中心に引き続き堅調に推移するとともに、円安進行も追い風となり、海外売上高は前年同期比32.2%増の2,032億円となりました。

<売上総利益>

売上総利益は、在庫評価などの影響はあったものの、為替や高収益品へのシフトにより、前年同期比16.4%増の1,787億円となりました。

<営業利益>

営業利益は、一般管理費と研究開発費を計画内でコントロールしたことにより、前年同期比13.2%増の483億円となりました。

<経常利益>

経常利益は、円安進行を受けた為替差益の寄与により、前年同期比23.4%増の499億円となりました。

<四半期純利益>

四半期純利益は、和解金60億円を特別利益に計上した結果、前年同期比49.3%増の369億円となりました。

事業セグメント別の売上高の状況は以下の通りです。

(単位：百万円)

事業セグメントの名称		前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	伸長率 (%)	為替影響除く 伸長率 (%)
ホスピタル事業	売上高	119,791	123,910	3.4	△1.3
	(国内)	98,010	95,632	△2.4	△2.4
	(海外)	21,781	28,277	29.8	4.0
心臓血管領域事業	売上高	122,305	153,873	25.8	6.2
	(国内)	34,572	36,769	6.4	6.4
	(海外)	87,732	117,104	33.5	6.2
血液システム事業	売上高	53,652	67,476	25.8	4.1
	(国内)	9,484	9,707	2.4	2.4
	(海外)	44,168	57,768	30.8	4.4

<ホスピタル事業>

国内では、売上が減速するとともに、前期の在宅事業譲渡の影響により、前年同期比では減収となりました。一方、海外では収益性改善を進めている北米・欧州においては現地通貨ベースで減収となったものの、アジアにおいて売上を伸ばしたことにより、現地通貨ベースで海外全体は前年同期比増収となりました。

その結果、ホスピタル事業の売上高は前年同期比3.4%増の1,239億円となりました。

<心臓血管領域事業>

国内では、末梢動脈疾患治療用ステントMisago「ミサゴ」やニューロ領域の新製品であるオクリュージョンバルーン「セプター」が好調に売上を伸ばしました。海外では現地通貨ベースで欧州の伸びが若干鈍化したものの、北米を中心にカテーテル事業が堅調に推移しました。特に、TRIの普及拡大に伴い、北米ではTRI関連製品群の継続的な売上拡大が続いています。また、ニューロ領域においても新製品のバルーンとステントが好調に売上を伸ばしました。

その結果、心臓血管領域事業の売上高は前年同期比25.8%増の1,539億円となりました。

<血液システム事業>

国内では治療アフエーシスが好調に売り上げを伸ばし、前年同期比で増収となりました。海外では欧米の厳しい市場環境の影響を受けましたが、堅調な業績を維持しました。血液システム事業の売上高は前年同期比25.8%増の675億円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末に比べ923億円増加して8,633億円となりました。

流動資産は売上拡大に伴う売掛金・たな卸資産の増加及び為替影響等により、323億円増加して3,192億円となりました。

固定資産は成長投資及び為替影響等により、593億円増加して5,431億円となりました。有形固定資産はテルモ山口への投資等により232億円増加、無形固定資産は257億円増加、投資その他の資産は105億円増加となりました。

(負債)

負債の部は188億円増加して3,519億円となりました。

流動負債は未払法人税等の増加等により、102億円増加して1,261億円となりました。

固定負債は為替影響による長期借入金の増加等により、86億円増加して2,258億円となりました。

(純資産)

純資産の部は、735億円増加して5,114億円となりました。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末と比べ2.5ポイント増加し、59.2%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

医療機器市場を取り巻く環境変化など、今後も不透明な状況が続きますが、連結業績予想について変更はありません。一方、想定為替レートにつきましては、当初の「対米ドル95円、対ユーロ123円」を、それぞれ「対米ドル100円、対ユーロ134円」に修正しております。

当社グループは、このような厳しい事業環境の中、目標を達成するため、医療経済性の向上に貢献できる高付加価値製品の導入、さらなる製造コストダウンへの取り組みや徹底した販管費の効率運用などに努めてまいります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	78,201	94,866
受取手形及び売掛金	95,008	108,575
たな卸資産	85,179	96,248
繰延税金資産	11,258	10,384
その他	18,528	10,522
貸倒引当金	△1,220	△1,391
流動資産合計	286,955	319,205
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	48,966	53,066
機械装置及び運搬具（純額）	46,366	51,538
土地	21,827	21,785
リース資産（純額）	704	521
建設仮勘定	17,794	31,070
その他（純額）	9,165	9,996
有形固定資産合計	144,824	167,978
無形固定資産		
のれん	149,322	160,343
顧客関連資産	90,706	97,404
その他	56,604	64,612
無形固定資産合計	296,634	322,360
投資その他の資産		
投資有価証券	30,304	37,130
繰延税金資産	5,153	3,266
その他	6,852	12,380
投資その他の資産合計	42,311	52,778
固定資産合計	483,770	543,116
繰延資産		
繰延資産合計	306	1,001
資産合計	771,032	863,324



（単位：百万円）

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	37,515	36,922
短期借入金	18,046	10,500
1年内返済予定の長期借入金	3,762	4,460
リース債務	277	205
未払法人税等	2,609	14,637
繰延税金負債	35	83
賞与引当金	4,834	2,508
役員賞与引当金	109	81
設備関係支払手形及び未払金	6,624	12,533
資産除去債務	420	—
その他	41,611	44,137
流動負債合計	115,844	126,071
固定負債		
社債	80,000	80,000
長期借入金	78,712	82,160
リース債務	439	308
繰延税金負債	49,659	54,072
退職給付引当金	1,247	1,567
役員退職慰労引当金	198	66
資産除去債務	155	157
その他	6,865	7,514
固定負債合計	217,278	225,846
負債合計	333,122	351,917
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	38,716	38,716
資本剰余金	52,103	52,103
利益剰余金	329,188	356,400
自己株式	△9	△20
株主資本合計	419,999	447,200
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7,458	11,909
繰延ヘッジ損益	—	△16
為替換算調整勘定	10,099	52,302
その他の包括利益累計額合計	17,557	64,194
新株予約権	—	11
少数株主持分	352	—
純資産合計	437,909	511,406
負債純資産合計	771,032	863,324

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	295,749	345,260
売上原価	142,261	166,599
売上総利益	153,487	178,661
販売費及び一般管理費	110,859	130,409
営業利益	42,628	48,251
営業外収益		
受取利息	221	287
受取配当金	191	226
受取ロイヤリティー	87	81
為替差益	15	4,664
持分法による投資利益	134	96
その他	575	776
営業外収益合計	1,225	6,131
営業外費用		
支払利息	948	1,124
売上割引	447	479
たな卸資産処分損	560	75
その他	1,443	2,784
営業外費用合計	3,399	4,464
経常利益	40,453	49,919
特別利益		
固定資産売却益	47	7
事業譲渡益	—	299
補助金収入	875	—
受取和解金	—	6,000
特別利益合計	922	6,307
特別損失		
固定資産処分損	451	216
減損損失	—	561
役員退職慰労金	—	33
事業整理損	—	881
ゴルフ会員権評価損	3	—
環境対策費	390	—
特別損失合計	845	1,693
税金等調整前四半期純利益	40,530	54,533
法人税、住民税及び事業税	17,564	18,041
法人税等調整額	△1,773	△434
法人税等合計	15,790	17,606
少数株主損益調整前四半期純利益	24,739	36,926
少数株主利益	32	30
四半期純利益	24,707	36,896

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	24,739	36,926
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,678	4,450
繰延ヘッジ損益	△38	△16
為替換算調整勘定	14,476	42,158
持分法適用会社に対する持分相当額	1	△2
その他の包括利益合計	16,116	46,590
四半期包括利益	40,856	83,517
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	40,826	83,530
少数株主に係る四半期包括利益	29	△13

(3) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	ホスピタル 事業	心臓血管領域 事業	血液システム 事業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	119,791	122,305	53,652	295,749	—	295,749
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	119,791	122,305	53,652	295,749	—	295,749
セグメント利益	18,651	19,530	1,880	40,061	2,566	42,628
セグメント利益率(%)	15.6	16.0	3.5	13.5	—	14.4

(注) 1. セグメント利益の調整額2,566百万円には、たな卸資産の調整額570百万円、その他1,995百万円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	ホスピタル 事業	心臓血管領域 事業	血液システム 事業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	123,910	153,873	67,476	345,260	—	345,260
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	123,910	153,873	67,476	345,260	—	345,260
セグメント利益	16,218	30,081	3,042	49,342	△1,090	48,251
セグメント利益率(%)	13.1	19.5	4.5	14.3	—	14.0

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,090百万円には、たな卸資産の調整額△626百万円、その他△464百万円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「心臓血管領域事業」セグメントにおいて、収益性が低下した資産グループの帳簿価額を回収可能価額まで減額し、減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては561百万円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象

該当事項はありません。